

## ◆寧波市「日中韓青年文化交流イベント」に出演し、観客を魅了！

6月17日（金）に、中国・寧波市にある寧波大紅鷹学院で開催された「日中韓青年文化交流イベント」、大学生をはじめとした若者たちが出演するこのイベントに、奈良市からソプラノ歌手の東野亜弥子さんとピアニストの井本理絵さんが出演しました。

東野さんは万葉オペラにも出演経験があるなど奈良市でも活躍されており、ステージでは日本古謡「さくらさくら」と中国で有名な歌曲「大海、わが故郷」の2曲を披露しました。

特に中国語で歌った「大海、わが故郷」では、歌い出しから大喝采が。その伸びやかな歌声に、中国の方々もうっとりとしていました。

また、井本さんのピアノ独奏では、ショパン：エチュード op.10-12「革命」と、リスト：ヴェルディの〈リゴレット〉による演奏会用パラフレーズを披露。高い技術と情感あふれる演奏に来場の方からは感嘆の声が出るなど、会場全体の雰囲気を変えるような素晴らしい演奏でした。

終演後には地元テレビ局から取材を受けるなど、公演は大好評でした。



東野さんのソプラノ独唱



井本さんのピアノの独奏



地元テレビ局からも取材が

## ◆第4回「東アジア文化都市 2016 奈良市」実行委員会を開催！

6月23日（木）に第4回東アジア文化都市 2016 奈良市実行委員会を開催しました。

今回の議題は「平成27年度決算の認定について」で、審査の結果、出席した全委員の賛成により認定いただきました。

その後、事務局から、第2回、第3回実行委員会の決議結果のほか、交流事業について映像を交えてのこれまでの実施事業の紹介と今後の予定、また、連携事業（企画連携事業、市民連携事業、広報連携事業）の状況についての報告を行いました。



実行委員会での活発な意見交換

最後に、6月29日（水）に文部科学省記者会見室で開催する企画発表会の内容について説明を行い、委員からは各会場を回る交通手段についての提案など、活発な意見交換が行われました。

## ◆市民連携事業に選定された団体のメンバーが一堂に会して交流

「東アジア文化都市 2016 奈良市」では、市民の方々とともに盛り上げ、日中韓をはじめとした東アジア地域の友好交流を深めようと、市民が自ら企画・運営を行う文化団体等の事業を市民連携事業として選定しています。

6月18日（土）には、選定された5事業の実施団体の代表の皆さんが、ならまちセンターで初めて一堂に会し、情報交換など交流を深めました。

これまで奈良市内で独自の文化事業を実施されてきた市民団体の皆さんの力が、ここから新しく交わり、繋がっていきます。

各事業の内容、開催予定日は「東アジア文化都市 2016 奈良市」公式サイトで紹介しています。今後、各事業の更なる魅力も紹介していく予定です。開催をどうぞ楽しみに。



選定団体の代表が一堂に会し、積極的に意見交換

## ◆第6回NARA-SHIPサポートクルー交流会を開催

6月18日（土）にNARA-SHIPサポートクルーの交流会を開催しました。

この日の目標は、蔡國強“船をつくる”プロジェクトの作品ガイドが出来るようになること。「なぜ“船”なのか」「なぜ東大寺でつくるのか」、この作品に込められた意味や思いの説明を受けるなど、作品ガイドに向けて勉強会を行いました。

その後、鏡池の“船”の前で、事務局からガイドの方法やポイントのレクチャーを受けるとともに、外国人観光客への対応も学びました。

また、実際にガイド体験にも挑戦し、サポートクルーの高橋さんからは、「ユニフォームを着ると、自然とガイドに慣れてくる。」と力強いアドバイスも。

参加者間の交流もあり、充実した時間となりました。



ガイドに向けての勉強会



“船”の前でのレクチャー

担当：奈良市東アジア文化都市推進課

電話：0742-27-0120

FAX：0742-27-0121

Mail：[culturecity-nara@city.nara.lg.jp](mailto:culturecity-nara@city.nara.lg.jp)



公式HP



Facebook



Twitter